

日本スポーツ学会の今後の主な提言と活動予定

<提言>

・障害者スポーツの推進と施設充実

全国どの施設でも障害者スポーツが可能になるように各自治体への指導、及びバリアフリー化のさらなる強化。大会助成。パラリンピック日本代表候補選手らへの強化費支給など。

・地域スポーツ振興の早期実現

地域の拠点でもある学校の運動場、体育館、プールなどの地域住民への施設開放。そのための市町村リーダーとの連携。さらに学校及び地域でのスポーツの選択の多様化（例えば学校の部活を含む地域スポーツにサッカーやラグビーがなかつたりするケースが全国でも少なくない。地域に働きかけてスポーツの選択肢を増やす）

・財政の使途の透明化と公開

・スポーツ推進会議及び文科省との定期的な意見交換の場の設置

<予定>

・9月20日 「スポーツを語りあう会」(18時半～早稲田大学競技スポーツセンター会議室)

文科省副大臣の鈴木寛氏にお越しいただきます。

・9月26日 スポーツゴジラ16号「スポーツと原発社会を考える」刊行

・10月上旬 シンポジウム「スポーツ基本法の今後について」

高橋明氏（障害者スポーツの第一人者でパラリンピック等の解説者）

山口香氏（88年ソウル五輪女子柔道52kg級銅メダリスト、筑波大准教授）
らが出席予定

<その他>

日本スポーツ学会が賛同してくれる選手、団体、有志へ協調を呼びかけ、スポーツ界の横のつながりを強化していきます。